

令和4（2022）年度 生涯学習・社会教育関係職員研修Ⅱ 実施報告②

実施日：令和4年8月2日（火）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受講者間の間隔を十分取るなどの対策をとり、実施しました。

○ 講話「障害者の生涯学習支援について」

明星大学教育学部客員教授兼明治大学兼任講師 平井 威 氏

平井先生は文部科学省「障害者の生涯学習の推進を担う人材育成の在り方検討会」の委員を務め、障害者の生涯学習支援入門ガイド・事例集「共生社会のマナビ」を執筆したメンバーの一人です。また、東京都立特別支援学校で教師を務めた経験などを踏まえ、知的障害を想定した障害者の生涯学習の支援方策について話がありました。知的障害者の学習ニーズについて考えることから始まり、知的障害者を対象とした講座づくりのヒントに及ぶなど幅広い内容となり、受講者は自分の業務を振り返りつつ、障害者の生涯学習を支援することについて考えていました。

○ 情報交換「障害者の生涯学習の推進に対する現状と課題」

演習「障害者の生涯学習の推進に関する学習活動の企画・実施に向けて」

明星大学教育学部客員教授・明治大学兼任講師 平井 威 氏
総合教育センター職員

グループワークとして、障害者の生涯学習の推進に関する各市町の現状などについて話し合いました。途中、平井先生も各グループの話し合いに参加してくださり、受講者にとっては平井先生と直接話したり、質問したりする機会もあり、大変充実した時間となりました。

次に、「共生社会のマナビ」の巻末にある「障害者の学びの場・合理的配慮のQ & A」を使い、合理的配慮という言葉が持つ意味内容やどのような状況で使用するべきかについてグループで話し合いを行いました。よく聞く言葉ではありますが、きちんと考えると難しい内容でもあり、最後に平井先生から説明があるなど、受講者にとっては学びの多い機会となりました。



☆受講者の声（アンケートから）

- ・平井先生の講話を聴いて、大変参考になりました。また、多くの自治体の様子を知りたいと思うようになりました。
- ・他市の活動の様子を知ることができ、大変勉強になりました。
- ・障害者の生涯学習が行われている事例をもっと知りたいと思いました。
- ・障害者の生涯学習に必要なことは「適切なサポート」だと思いました。私自身が障害について理解し、どのようなサポートが必要とされ、どのようなニーズがあるのかを把握した上で、学習機会をつくることを心掛けたいと思いました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp